

令和6年度 沖縄県老人福祉施設職員研究大会 「Next Stage～持続可能な新しい介護の創造～」 開催要綱

1. 趣 旨

人口減少局面に移行した我が国は、高齢者人口の増加と労働力人口の減少を要因として、経済活動や社会保障の維持が大きな社会的課題となっております。

一方、介護施設・事業所の経営は、人材獲得競争にさらされ、長引く物価高騰や新型コロナウイルス感染症等、直面する諸課題への対応を迫られる等、今までにない厳しい状況にあります。

このような中でも、日夜、介護現場で専門性を高めるための研鑽を積み重ね、特に科学的介護情報システム（L I F E）や介護ロボット・I C Tの活用による生産性の向上を目指した取り組みが進められており、介護の未来を創造する機運が高まりつつあります。

本研究大会では、「Next Stage～持続可能な新しい介護の創造～」をスローガンに、県内の高齢者施設・事業所の職員が一堂に会して実践研究の成果を発表・共有するとともに、高齢者介護の持続的な発展と魅力発信につなげることを目的に開催します。

2. 大会スローガン 「Next Stage～持続可能な新しい介護の創造～」

3. 主 催 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会・沖縄県老人福祉施設協議会

4. 日 時 令和6年11月9日（土）10：30～16：00（10：00 受付開始）

5. 会 場 沖縄県総合福祉センター 東棟1階 ゆいホール 他

6. 日 程

10:00	10:30	10:40	12:00	13:00	16:00
受付	開会	全体会 《トーク&弾語り》	昼食 休憩	分科会 《研究発表》	閉会

7. トーク&弾語り

「ミャークフツに磨きをかける！～唯一無二を追い求めて～」

ゲスト：シンガーソングライター 下地 イサム 氏

1969年生まれ 沖縄県宮古島市平良出身。オリジナル曲のほとんどを、出身地宮古島の言葉（ミャークフツ）で歌うシンガーソングライター。

沖縄県立宮古高校を卒業し18歳で上京。音楽とはまったく無縁の7年間の東京生活を終え、25歳で沖縄本島に戻る。サラリーマンをしながら30歳の時に転機が訪れ、シンガーソングライターになる。

2006年に第四回宮良長包音楽賞・特別賞をはじめ、2007年に第10回インターネット音楽祭「歌手ナビ」fm OSAKA賞、2019年に第11回CDショップ大賞「沖縄ブロック賞」アルバム『G A F U』、2023年に令和5年度文化庁長官表彰を受賞。

現在は沖縄本島を拠点に、県外・海外でのライブ活動を展開中。

8. 分科会テーマ

分科会	テーマ	主な内容と関連項目（案）
第1分科会	科学的介護の実現と推進	<ul style="list-style-type: none"> *科学的介護情報システム（LIFE）の活用 *記録業務（ペーパーレス化）の効率化 *記録活用とアウトカム評価 *ケアプランに基づいた介護の実践 *認知症ケアの実践 *ICT、介護ロボット・機器導入と費用対効果 *安眠支援に向けた夜間業務への対応 *職員間の情報共有、業務効率化、ペーパーレス化
第2分科会	高品質な施設サービスに向けた業務改善の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> *自立支援介護、ADL改善、QOL向上の実践 *栄養ケアマネジメント *調理法や調理業務の工夫 *食事を楽しくする取り組み *口腔ケア *医行為（喀痰吸引、経管栄養） *看取り介護
第3分科会	社会福祉法人・施設の地域貢献と公益的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> *SDGs推進の取り組み *地域における公益的な取り組み・地域貢献活動 *地域住民への施設開放・交流活動の取り組み *既存の社会資源との連携・利活用 *災害時の対応・地域支援活動 *地域共生社会の実現、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み *社会福祉法人の経営戦略
第4分科会	介護人材の確保・育成・定着・処遇改善の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> *働きやすい職場環境づくり *職員の専門性向上とキャリアアップの確保 *求人・採用の工夫 *介護の魅力発信・SNSの活用 *福利厚生・処遇改善の取り組み *業務の効率化、モチベーションアップ *外国人労働者への教育・研修体制
第5分科会	「医療・介護・地域」多職種連携によるケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> *重度化に伴う医療ニーズへの対応 *多職種連携による施設ケアの更なる取り組み *医療ニーズにおける家族との連携 *新型コロナへの対応を踏まえた今後の感染症対策の取り組み *介護職員の医療行為に関する取り組み *看護・介護体制の現状と課題 *フォーマル・インフォーマルな社会資源の活用
第6分科会	在宅サービス・地域密着型サービスの実践と課題	<ul style="list-style-type: none"> *介護予防・地域密着型サービスの取り組み *認知症ケアの実践 *在宅サービスにおける医療との連携 *利用者の生活支援、家族支援 *ICTの活用やLIFEの導入について *災害・感染症（BCP）への対応 *介護保険外サービスの取り組み

第7分科会	軽費・ケアハウス・養護老人ホームの実践と課題	<ul style="list-style-type: none"> *軽費・ケアハウス・養護老人ホーム機能の発揮と実践 *入所者の高齢化・重度化・精神障害・慢性疾患等の対応 *契約入所や選ばれる施設へ向けた取り組み *特定施設の課題 *良質なサービス提供の取り組み *災害・感染症（BCP）への対応 *医療・地域との連携
-------	------------------------	--

□■□その他■□■

- ・各分科会には定員があります。万が一、定員を超える場合は、他の分科会へのご案内となりますので、お申し込みの際は、第2希望までご記入ください。
 - ・例年、大会前に参加申込施設へ「参加券」及び「昼食券」を郵送しておりましたが、今年度の大会では当該チケットの事前送付は行いません。
- 本大会では、当日受付時に首掛け式の名札（参加券を兼用）を配布いたしますので、お受け取りください。この名札は、分科会参加券及び昼食引換券としてお使いいただけます。

- 9. 参加費** 1人 4,400円（内、消費税額400円）
- ※ 令和5年10月からインボイス制度が始まります。必要な方には「適格簡易請求書」を発行しますので、本会事務局までお声掛けください。
 - ※ 本会の適格請求書発行事業者登録番号（インボイスナンバー）
T4-3600-0500-0294

10. 参加対象 沖縄県老人福祉施設協議会 会員施設・事業所の役員及び職員

11. 定員 300名（定員に達し次第締め切ります）

12. 参加申込

(1) 沖縄県社会福祉協議会ホームページの申込フォームに必要事項を入力の上、送信ください。

申込フォーム（ <https://ws.formzu.net/fgen/S384930894/> ）

※ 入力画面の内容確認の際には「自分にも送信内容のコピーメールを送る。」にチェックを入れてください。コピーメールから申込担当者が入力した内容を確認できます。

（確認メールが届かない場合は、事務局へお問い合わせください）

(2) 申込と併せて下記口座へ参加費をお振り込みください。なお、振込手数料につきましては、各参加者負担となりますので予めご了承ください。

【参加費振込先】

金融機関名	琉球銀行 石嶺支店（店番：323）
預金種類	普通
口座番号	315884
口座名義	社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川 昌秀 フリガナ：フク、オキナワケンシャキョウ

※お振り込み時の注意（経理担当者へのお願い）

振込先が確認できるように、必ずご依頼人名（施設名・事業所）を先にご記入ください。

【例】「特別養護老人ホーム ○○園」ではなく、「○○園 特別養護老人ホーム」もしくは「○○園」のみでも可

13. 申込締切・振込期日 令和6年10月18日（金）まで

14. 留意事項

- (1) 参加申込後の参加費は返金できません。（後日、資料を送付します）
- (2) 大会当日の参加費の現金納付は受け付けておりませんので、予めご了承ください。
- (3) 分科会発表者1名（機材操作のための発表補助者は除く）、大会役員（県老協正副会長、研修委員長）、運営委員（幹事、議長、受付・会場係等）については、大会参加費は免除となり、参加申込は必要ありません。
- (4) 本大会の「参加申込フォーム」に入力された個人情報は、本大会に係る運営管理の目的にのみ活用させていただきます。なお、大会資料に氏名及び職名を掲載いたします。

15. お問い合わせ・大会事務局

〒903-8603 那覇市首里石嶺町 4-373-1 県総合福祉センター西棟 4階
社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部（担当：佐久川・比嘉・久根次）
TEL：098-887-2000 / FAX：098-887-2024
E-mail：roushikyo@okishakyo.or.jp